

# 第2期中空知定住自立圏共生ビジョン 基本目標及びKPI設定根拠資料

## I - 1 医療

専門部会名	保健・医療専門部会	
政策分野名	医療	
政策分野の基本目標	基本目標：中空知圏における救急搬送の完結 患者流出の割合 1.8%（平成29年度） ⇒ 1.6%（平成34年度）	
【設定理由】 圏域内で救急搬送を完結させる体制の維持確保を図ることにより、地域住民の生命に対する安全・安心を図る。		
【設定根拠】 圏域内外の救急搬送数 <平成29年度>		
	搬送人員総数	内圏域外への搬送人員
滝川地区広域消防事務組合	2,941名	75名
砂川地区広域消防組合	1,258名	4名
歌志内市消防本部	275名	0名
●平成34年度における目標値 前共生ビジョンの目標が平成27年度実績の1.6%を平成29年度にも1.6%としていたが、結果は平成29年度実績で1.8%であった。平成34年度の目標は前回同様の1.6%を見込む。		
【今後の検証方法】 滝川市、砂川市、歌志内市で各地区消防に実績を確認し、保健・医療専門部会において取りまとめる。		

## I - 1 - (1) 救急医療の維持確保対策

専門部会名	保健・医療専門部会
施策名	救急医療の維持確保対策
施策の成果指標（KPI）	在宅当番医制（救急診療当番制）の参加機関数 20機関（平成29年度）⇒ 20機関（平成34年度）
【設定理由】 初期救急医療体制の維持確保を図ることで、地域住民の生命に対する安全性を図る。	
【設定根拠】 各市町の在宅当番医制（救急診療当番制）の参加医療機関数	
	平成29年度
芦別市	病院：1
赤平市	病院：1
滝川市	病院：2
砂川市	病院：2、診療所：6
歌志内市	病院：1
奈井江町	病院：1、診療所：3
上砂川町	—
浦臼町	—
新十津川町	病院：1、診療所：1
雨竜町	病院：1
●平成34年度における目標値 当番医は現状維持の20機関を見込む。	
【今後の検証方法】 各市町で参加機関数を把握し、保健・医療専門部会において取りまとめる。	

## I - 1 - (2) 圏域医療体制の充実

専門部会名	保健・医療専門部会
施策名	圏域医療体制の充実
施策の成果指標（KPI）	中心市から近隣市町への医師派遣回数 614回（平成29年度） → 614回（平成34年度）
【設定理由】 中心市から近隣市町へ医師を派遣することにより、圏域内の医療体制の充実を図る。	
【設定根拠】 中心市からの医師派遣回数実績 〈平成29年度〉 砂川市立病院派遣実績：528回 派遣先：滝川市立病院 産婦人科140回 市立芦別病院 耳鼻咽喉科46回、整形外科46回 あかびら市立病院 泌尿器科48回、整形外科99回 奈井江町立国保病院 小児科49回、（市立美唄病院 産婦人科100回） 滝川市立病院派遣実績：79回 派遣先：あかびら市立病院 麻酔科31回 市立芦別病院 整形外科48回 あかびら市立病院派遣実績：7回 派遣先：市立芦別病院 外科7回  ●平成34年度における目標値 前共生ビジョンの目標が平成27年度実績の434回を平成29年度には480回としていたが、結果は平成29年度実績で614回と大幅に上昇した。平成34年度の目標は平成29年度実績を維持するものとして614回を見込む。	
【今後の検証方法】 各市町への医師派遣回数について聞き取り調査を行い、保健・医療専門部会において取りまとめる。	

I - 2 福祉

専門部会名	福祉・子育て専門部会
政策分野名	福祉
政策分野の基本目標	出生者数 497人（平成29年）⇒590人（平成34年）

【設定理由】

・ 中空知定住自立圏共生ビジョンにおいて、住民が安全で安心して暮らし続ける地域社会の形成等に取り組むことで人口定住を促進するとされていることから、福祉体制の確保や子育て環境の充実を図ることで出生者数を確保する。

【設定根拠】

- ・ 出生者数の目標値は、地方創生人口ビジョンとの整合を図ることとする。
- ・ 平成 29 年の住民基本台帳ベースの出生者数を起点に地方創生人口ビジョンにおける平成 37 年推計に基づく出生者数が直線的に増加すると仮定して、34 年の目標値を推計する。

<H29年> 平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで（住民基本台帳人口動態）（単位：人）

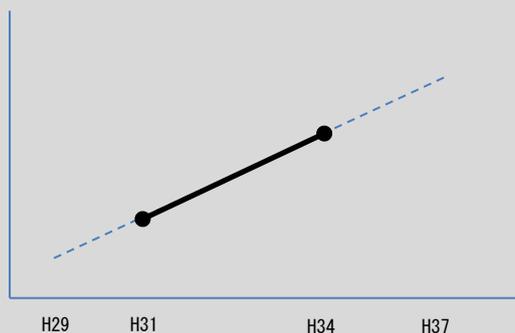
芦別市	赤平市	滝川市	砂川市	歌志内市	奈井江町	上砂川町	浦臼町	新十津川町	雨竜町	合計
38	30	254	85	10	20	11	6	34	9	497

<H37年>

（単位：人）

芦別市	赤平市	滝川市	砂川市	歌志内市	奈井江町	上砂川町	浦臼町	新十津川町	雨竜町	合計
52	59	280	115	14	22	16	9	43	15	625

（地方創生人口ビジョンにおける H37 における 0 歳～4 歳の人口の総数）÷5年＝各市町の H37 年における目標値



【今後の検証方法】

公益財団法人 国土地理協会で毎年発行する「住民基本台帳人口要覧」の市町村別出生者数を基に検証する。

## I-2-(1) 障がい者福祉の推進

専門部会名	福祉・子育て専門部会
政策分野名	障がい者福祉の推進
政策分野の基本目標	<p>地域活動支援センターの通所利用者数            7,376人(平成29年)⇒7,981人(平成34年)            ※「地域活動支援センターぽぼろ」の過去3年の通所利用者数を            参考に目標値を設定した。(H29:4,437人、H28:4,402人、H27:            4,296人)</p>
<p><b>【設定理由】</b>            地域活動支援センターの広域利用を促進し、障がい者(児)の自立と社会参加を図る。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b>            &lt;H29年度&gt;            芦別市… 923人(芦別市地域活動支援センター)            赤平市… 253人(地域活動支援センターぽぼろ)            滝川市… 792人(地域活動支援センターぽぼろ)            砂川市… 2,149人(地域活動支援センターぽぼろ)            歌志内市… 48人(地域活動支援センターぽぼろ)            奈井江町… 498人(地域活動支援センターぽぼろ)            上砂川町… 590人(地域活動支援センターぽぼろ)            浦臼町… 20人(地域活動支援センターぽぼろ)            新十津川町2,103人(地域活動支援センターぽぼろ、あざれあ工房)            雨竜町… 0人(地域活動支援センターあざれあ工房)            合計 7,376人</p> <p>ここで、「地域活動支援センターぽぼろ」の過去3年の通所利用者数を参考に目標値を設定した。            (H29:4,437人、H27:4,296人) H27からH29は3.28%の伸びなので、            H29全体の数値7,376人×1.0328=7,618人(H31の数値として設定)            7,618人(H31)-7,376人(H29)=242人            平成32年度以降は単年度で121人増加するものとして、            7,618人+121人×3年分(H32~H34)=7,981人とした。</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b>            各市町において、地域活動支援センター事業の利用者数について調査を行い、福祉・子育て専門部会            において取りまとめる。</p>	

## I - 2 - (2) 保育所広域入所事業

専門部会名	福祉・子育て専門部会
政策分野名	保育所広域入所事業
政策分野の基本目標	中空知圏域における保育所数 16箇所（平成29年）⇒17箇所（平成34年）
<b>【設定理由】</b> ・認可保育所（認定子ども園）において適切な保育を提供し、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立を図ることで、子育て世帯の定住を促進する。	
<b>【設定根拠】</b> <H29年度> 芦別市… 1箇所 赤平市… 2箇所 滝川市… 6箇所（※平成30年滝川中央保育所分園東栄保育所休所） 砂川市… 3箇所 歌志内市… 1箇所 奈井江町… 1箇所 上砂川町… 1箇所 浦臼町… 0箇所（※平成30年4月に認定子ども園開設予定） 新十津川町… 1箇所 雨竜町… 0箇所	
<b>【今後の検証方法】</b> 各市町の保育所設置数について調査を行い、福祉・子育て専門部会において取りまとめる。	

## I-3 教育

専門部会名	教育専門部会						
政策分野名	教育						
政策分野の基本目標	「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙回答より ①「国語の授業の内容がよく分かる」 小学生：36%⇒40%、中学生：31%⇒40% ②「算数（数学）の授業の内容がよく分かる」 小学生：46%⇒50%、中学生：32%⇒40%						
【設定理由】	児童生徒の学力向上を目指すために、各教科における授業の理解度を高める。						
【設定根拠】	<b>小学校調査/児童質問紙</b>  <b>国語の授業の内容はよく分かりますか</b> <b>算数の授業の内容はよく分かりますか</b>  【目標】当てはまると回答した割合 <b>40%</b> 【目標】当てはまると回答した割合 <b>50%</b>						
	H27	H28	H29		H27	H28	H29
全国	37.7%	36.5%	39.0%	全国	47.0%	46.8%	47.7%
北海道	36.2%	35.8%	38.5%	北海道	43.3%	43.6%	44.8%
空知	34.0%	30.5%	39.1%	空知	42.9%	39.5%	48.7%
中空知	33.4%	31.7%	36.4%	中空知	43.2%	40.7%	45.7%
芦別市	25.3%	36.0%	32.9%	芦別市	45.3%	36.0%	42.5%
赤平市	24.2%	41.5%	39.5%	赤平市	29.0%	39.6%	37.2%
滝川市	38.4%	31.5%	40.2%	滝川市	44.1%	40.3%	46.4%
砂川市	35.0%	23.3%	34.1%	砂川市	46.7%	40.4%	46.5%
歌志内市	31.3%	55.0%	16.7%	歌志内市	31.3%	45.0%	41.7%
奈井江町	26.1%	21.2%	35.1%	奈井江町	41.3%	55.6%	56.8%
上砂川町	38.1%	47.6%	30.0%	上砂川町	52.4%	66.7%	55.0%
浦臼町	60.0%	15.0%	27.3%	浦臼町	50.0%	40.0%	27.3%
新十津川町	25.4%	34.0%	27.8%	新十津川町	41.3%	42.0%	48.1%
雨竜町	25.0%	40.0%	60.0%	雨竜町	50.0%	60.0%	33.3%

## 中学校調査/生徒質問紙

### 国語の授業の内容はよく分かりますか

【目標】当てはまると回答した割合 **40%**

	H27	H28	H29
全国	25.3%	26.4%	27.0%
北海道	27.9%	28.4%	30.0%
空知	31.8%	27.5%	31.4%
中空知	30.7%	30.2%	31.0%
芦別市	47.5%	33.3%	42.9%
赤平市	28.6%	23.6%	17.6%
滝川市	26.3%	25.9%	29.3%
砂川市	40.4%	41.7%	28.6%
歌志内市	5.3%	20.7%	33.3%
奈井江町	42.2%	46.2%	39.0%
上砂川町	15.0%	26.7%	52.9%
浦臼町	5.9%	6.7%	33.3%
新十津川町	18.6%	10.7%	32.8%
雨竜町	36.0%	59.3%	26.1%

### 数学の授業の内容はよく分かりますか

【目標】当てはまると回答した割合 **40%**

	H27	H28	H29
全国	32.9%	31.9%	31.7%
北海道	32.7%	31.2%	32.2%
空知	30.3%	28.3%	30.4%
中空知	31.1%	28.5%	32.1%
芦別市	27.3%	26.9%	27.4%
赤平市	19.5%	25.0%	20.6%
滝川市	27.2%	28.1%	27.3%
砂川市	40.4%	29.1%	37.9%
歌志内市	15.8%	17.2%	44.4%
奈井江町	55.6%	53.8%	73.2%
上砂川町	30.0%	6.7%	0.0%
浦臼町	64.7%	33.3%	50.0%
新十津川町	25.7%	28.6%	32.8%
雨竜町	40.0%	18.5%	39.1%

#### 【今後の検証方法】

各市町の「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙回答について、教育専門部会においてとりまとめる。

## I-3-(1) 学校教育の充実

専門部会名	教育専門部会
施策名	学校教育の充実
施策の成果指標（KPI）	学校適応指導事業を実施している市町の数 3市3町（平成29年度） ⇒ 3市3町（平成34年度）
<p>【設定理由】</p> <p>不登校児童生徒の支援・指導を行う場を確保することで、学校復帰に向けたサポート体制の充実を図る。</p>	
<p>【設定根拠】</p> <p>&lt;平成29年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈井江町、浦臼町は美唄市と共同運営</li> <li>● 滝川市と新十津川町（H25）・赤平市（H27）は協定</li> <li>● 芦別市（単独）</li> </ul>	
<p>【今後の検証方法】</p> <p>協定による広域利用など体制整備を完了した市町数を、教育専門部会においてとりまとめる。</p>	

## I-3-(2) 国際教育の充実

専門部会名	幹事会	
施策名	国際教育の充実	
施策の成果指標 (KPI)	外国語指導助手の広域活動延べ人数 24人(平成29年度) ⇒ 30人(平成34年度)	
<b>【設定理由】</b> 外国語指導助手の広域的な活動状況を計り、今後の事業実施に活かすため。		
<b>【設定根拠】</b> 外国語指導助手の広域活動延べ人数(平成29年度)		
	件数	内訳・内容
滝川市	11人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際交流ふれあい in 砂川(砂川市教育委員会):3人</li> <li>● H28年度共通事業ジュニアイングリッシュキャンプ:(ネイパル砂川):3人</li> <li>● ジャリン子ハロウィーン2017(砂川市教育委員会):2人</li> <li>● 北海道イングリッシュキャンプ(ネイパル砂川):3人</li> </ul>
砂川市	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北海道イングリッシュキャンプ(ネイパル砂川):1人</li> <li>● H29滝川高校SSH課題研究発表会(滝川高等学校):1人</li> <li>● ジャリン子ハロウィーン2017(砂川市教育委員会):1人</li> <li>● 国際交流ふれあい in 砂川(砂川市教育委員会):1人</li> <li>● H29TEFL研修講座の運営(北海道立教育研究所):1人</li> </ul>
芦別市	0人	
赤平市	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャリン子ハロウィーン2017(砂川市教育委員会):1名</li> <li>● H29北海道イングリッシュキャンプ(ネイパル砂川):1名</li> </ul>
歌志内市	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際交流ふれあい in 砂川(砂川市教育委員会):1人</li> <li>● ジャリン子ハロウィーン2017(砂川市教育委員会):1人</li> </ul>
奈井江町	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際交流ふれあい in 砂川(砂川市教育委員会):1名</li> <li>● ジュニアイングリッシュキャンプ(ネイパル砂川):1人</li> </ul>
上砂川町	0人	無し
浦臼町	0人	
新十津川町	0人	
雨竜町	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イングリッシュキャンプ in Sunagawa(ネイパル砂川):1人</li> <li>● ジャリン子ハロウィーン2017(砂川市教育委員会):1人</li> </ul>
合計	24人	
<p>●平成34年度における目標値</p> <p>平成32年度からの小学校5・6年生の英語の教科化に伴い、今後、英語教育の取組みが期待されるため、平成34年度においては、平成29年度よりも2割程度増加の30人を目標とする。</p> <p>前共生ビジョンの目標が平成27年度実績の24人を平成29年度には2割程度増加の30人としていたが、外国語指導助手の増員は平成30年度から行われたことを踏まえて、前回同様の30人を見込む。</p>		
<b>【今後の検証方法】</b> 各市町において、計上する。		

## I-3-(3) 公の施設の相互利用の推進

専門部会名	幹事会																												
施策名	公の施設の相互利用の推進																												
施策の成果指標（KPI）	図書館ネットワーク推進事業の参加者数 525人（平成29年度） ⇒ 600人（平成34年度）																												
【設定理由】 図書館ネットワーク推進事業の参加者数を計り、今後の事業に活かしていくため。																													
【設定根拠】 図書館ネットワーク推進事業の参加者数（平成29年度）																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>月日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵本作家講演会 砂川会場</td> <td>11月3日</td> <td>247名</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア育成研修会 滝川会場</td> <td>7月16日</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア育成研修会 砂川会場</td> <td>7月30日</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア育成研修会 奈井江会場</td> <td>8月6日</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>おはなしカーニバル</td> <td>11月18日</td> <td>138名</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 上 砂川町会場</td> <td>3月1日</td> <td>44名</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 歌 志内市会場</td> <td>3月1日</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>525名</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	月日	参加者数	絵本作家講演会 砂川会場	11月3日	247名	読み聞かせボランティア育成研修会 滝川会場	7月16日	26名	読み聞かせボランティア育成研修会 砂川会場	7月30日	24名	読み聞かせボランティア育成研修会 奈井江会場	8月6日	22名	おはなしカーニバル	11月18日	138名	読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 上 砂川町会場	3月1日	44名	読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 歌 志内市会場	3月1日	24名	合計		525名
事業名	月日	参加者数																											
絵本作家講演会 砂川会場	11月3日	247名																											
読み聞かせボランティア育成研修会 滝川会場	7月16日	26名																											
読み聞かせボランティア育成研修会 砂川会場	7月30日	24名																											
読み聞かせボランティア育成研修会 奈井江会場	8月6日	22名																											
おはなしカーニバル	11月18日	138名																											
読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 上 砂川町会場	3月1日	44名																											
読み聞かせ地域講習会～絵本パフォーマンス 歌 志内市会場	3月1日	24名																											
合計		525名																											
<p>●平成34年度における目標値</p> <p>前共生ビジョンの目標が平成27年度実績の550人を平成29年度には600人としていたが、平成28年度実績は703人、平成29年度実績は525人という結果であったことを踏まえて、前共生ビジョン同様600人とする。</p>																													
【今後の検証方法】 滝川市から中空知広域市町村圏組合に確認する。																													

## I - 4 産業振興

専門部会名	産業・観光・交流・定住専門部会																																																												
政策分野名	産業振興																																																												
政策分野の基本目標	事業所数、従業員数 ※経済センサス 4,836 箇所、41,869 人（平成 29 年度） ⇒ 4,673 箇所、40,803 人（平成 34 年度）																																																												
【設定理由】 圏域内の就職促進に努め、従業員の定着を図る。																																																													
【設定根拠】 〈H29 年度〉 → 〈H34 年度〉 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>芦別市</td> <td>640 箇所</td> <td>4,979 人</td> <td>→</td> <td>620 箇所</td> <td>4,800 人</td> </tr> <tr> <td>赤平市</td> <td>502 箇所</td> <td>4,940 人</td> <td>→</td> <td>500 箇所</td> <td>5,000 人</td> </tr> <tr> <td>滝川市</td> <td>1,882 箇所</td> <td>14,647 人</td> <td>→</td> <td>1,800 箇所</td> <td>13,900 人</td> </tr> <tr> <td>砂川市</td> <td>893 箇所</td> <td>8,907 人</td> <td>→</td> <td>900 箇所</td> <td>9,000 人</td> </tr> <tr> <td>歌志内市</td> <td>129 箇所</td> <td>801 人</td> <td>→</td> <td>110 箇所</td> <td>700 人</td> </tr> <tr> <td>奈井江町</td> <td>248 箇所</td> <td>3,105 人</td> <td>→</td> <td>248 箇所</td> <td>3,200 人</td> </tr> <tr> <td>上砂川町</td> <td>136 箇所</td> <td>934 人</td> <td>→</td> <td>110 箇所</td> <td>800 人</td> </tr> <tr> <td>浦臼町</td> <td>87 箇所</td> <td>608 人</td> <td>→</td> <td>82 箇所</td> <td>577 人</td> </tr> <tr> <td>新十津川町</td> <td>198 箇所</td> <td>1,848 人</td> <td>→</td> <td>188 箇所</td> <td>1,756 人</td> </tr> <tr> <td>雨竜町</td> <td>121 箇所</td> <td>1,100 人</td> <td>→</td> <td>115 箇所</td> <td>1,070 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 34 年度における目標値 平成 29 年度実績を基に、人口減少の影響を考慮しながら各市町が目標値を設定した結果全体で約 3% の減少となった。</p>		芦別市	640 箇所	4,979 人	→	620 箇所	4,800 人	赤平市	502 箇所	4,940 人	→	500 箇所	5,000 人	滝川市	1,882 箇所	14,647 人	→	1,800 箇所	13,900 人	砂川市	893 箇所	8,907 人	→	900 箇所	9,000 人	歌志内市	129 箇所	801 人	→	110 箇所	700 人	奈井江町	248 箇所	3,105 人	→	248 箇所	3,200 人	上砂川町	136 箇所	934 人	→	110 箇所	800 人	浦臼町	87 箇所	608 人	→	82 箇所	577 人	新十津川町	198 箇所	1,848 人	→	188 箇所	1,756 人	雨竜町	121 箇所	1,100 人	→	115 箇所	1,070 人
芦別市	640 箇所	4,979 人	→	620 箇所	4,800 人																																																								
赤平市	502 箇所	4,940 人	→	500 箇所	5,000 人																																																								
滝川市	1,882 箇所	14,647 人	→	1,800 箇所	13,900 人																																																								
砂川市	893 箇所	8,907 人	→	900 箇所	9,000 人																																																								
歌志内市	129 箇所	801 人	→	110 箇所	700 人																																																								
奈井江町	248 箇所	3,105 人	→	248 箇所	3,200 人																																																								
上砂川町	136 箇所	934 人	→	110 箇所	800 人																																																								
浦臼町	87 箇所	608 人	→	82 箇所	577 人																																																								
新十津川町	198 箇所	1,848 人	→	188 箇所	1,756 人																																																								
雨竜町	121 箇所	1,100 人	→	115 箇所	1,070 人																																																								
【今後の検証方法】 各市町が、経済センサスに基づき事業所数、従業員数の把握をし、産業・観光・交流・定住専門部会において取りまとめる。																																																													

**H 2 9 実績：平成 2 8 年経済センサス活動調査結果の数値**

**H 3 4 目標：H 2 9 実績から設定する**

## I - 4 - (1) 鳥獣被害防止対策の推進

専門部会名	産業・観光・交流・定住専門部会
施策名	鳥獣被害防止対策の推進
施策の成果指標（KPI）	有害鳥獣捕獲頭数（エゾシカ・アライグマ） 2,837頭数（平成29年度）→ 3,020頭数（平成34年度）
<p><b>【設定理由】</b> 有害鳥獣（エゾシカ・アライグマ）を駆除することにより、農林業被害等の抑制に努めるとともに市民生活の安全を図る。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b> 〈H29年度〉→ 〈H34年度〉</p> <p>芦別市・・・1,181頭（エゾシカ 600：アライグマ 581）→ 1,060頭（エ・600：ア・460）  赤平市・・・209頭（エゾシカ 55：アライグマ 154）→ 230頭（エ・100：ア・130）  滝川市・・・311頭（エゾシカ 92：アライグマ 219）→ 310頭（エ・90：ア・220）  砂川市・・・196頭（エゾシカ 106：アライグマ 90）→ 270頭（エ・130：ア・140）  歌志内市・・・198頭（エゾシカ 178：アライグマ 20）→ 200頭（エ・180：ア・20）  奈井江町・・・113頭（エゾシカ 88：アライグマ 25）→ 180頭（エ・120：ア・60）  上砂川町・・・49頭（エゾシカ 40：アライグマ 9）→ 60頭（エ・45：ア・15）  浦臼町・・・106頭（エゾシカ 29：アライグマ 77）→ 145頭（エ・50：ア・95）  新十津川町・・・402頭（エゾシカ 292：アライグマ 110）→ 480頭（エ・350：ア・130）  雨竜町・・・72頭（エゾシカ 11：アライグマ 61）→ 85頭（エ・15：ア・70）</p> <p>●平成34年度における目標値 平成29年度実績を基に、各市町が目標値を設定した結果全体で約6%の増加となった。</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b> 各市町が、有害鳥獣捕獲頭数を把握し、産業・観光・交流・定住専門部会において取りまとめる。</p>	

## I - 4 - (2) 地域資源を活用した農工商・観光振興

専門部会名	産業・観光・交流・定住 専門部会																																								
施策名	地域資源を活用した農工商・観光振興																																								
施策の成果指標（KPI）	観光客入込数 450万2千人（平成29年度）→ 505万7千人（平成34年度）																																								
<p>【設定理由】</p> <p>広域観光の連携を推進するとともに地域資源の付加価値化を維持・向上させ地域ブランドの情報発信に努め、観光客の入込数の増加を図る。</p>																																									
<p>【設定根拠】</p> <p>&lt;H29年度&gt;→ &lt;H34年度&gt;</p> <table> <tbody> <tr> <td>芦別市</td> <td>904,000人</td> <td>→</td> <td>1,000,000人</td> </tr> <tr> <td>赤平市</td> <td>240,000人</td> <td>→</td> <td>260,000人</td> </tr> <tr> <td>滝川市</td> <td>661,000人</td> <td>→</td> <td>750,000人</td> </tr> <tr> <td>砂川市</td> <td>1,412,000人</td> <td>→</td> <td>1,562,000人</td> </tr> <tr> <td>歌志内市</td> <td>349,000人</td> <td>→</td> <td>372,000人</td> </tr> <tr> <td>奈井江町</td> <td>185,000人</td> <td>→</td> <td>300,000人</td> </tr> <tr> <td>上砂川町</td> <td>97,000人</td> <td>→</td> <td>112,000人</td> </tr> <tr> <td>浦臼町</td> <td>226,000人</td> <td>→</td> <td>250,000人</td> </tr> <tr> <td>新十津川町</td> <td>166,000人</td> <td>→</td> <td>171,000人</td> </tr> <tr> <td>雨竜町</td> <td>262,000人</td> <td>→</td> <td>280,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1,000人未満切り捨て</p> <p>●平成34年度における目標値</p> <p>平成29年度実績を基に、外国人観光客の入込などが好調であることを考慮し、各市町が目標値を設定した結果全体で約12%の増加となった。</p>		芦別市	904,000人	→	1,000,000人	赤平市	240,000人	→	260,000人	滝川市	661,000人	→	750,000人	砂川市	1,412,000人	→	1,562,000人	歌志内市	349,000人	→	372,000人	奈井江町	185,000人	→	300,000人	上砂川町	97,000人	→	112,000人	浦臼町	226,000人	→	250,000人	新十津川町	166,000人	→	171,000人	雨竜町	262,000人	→	280,000人
芦別市	904,000人	→	1,000,000人																																						
赤平市	240,000人	→	260,000人																																						
滝川市	661,000人	→	750,000人																																						
砂川市	1,412,000人	→	1,562,000人																																						
歌志内市	349,000人	→	372,000人																																						
奈井江町	185,000人	→	300,000人																																						
上砂川町	97,000人	→	112,000人																																						
浦臼町	226,000人	→	250,000人																																						
新十津川町	166,000人	→	171,000人																																						
雨竜町	262,000人	→	280,000人																																						
<p>【今後の検証方法】</p> <p>各市町が、観光客の入込数を把握し、産業・観光・交流・定住専門部会において取りまとめる。</p>																																									

## I - 4 - (3) 雇用・就業支援対策の推進

専門部会名	産業・観光・交流・定住 専門部会	
施策名	雇用・就業支援対策の推進	
施策の成果指標（KPI）	季節労働者の通年雇用化人数 51人（平成29年度）⇒ 50人（平成34年度）	
【設定理由】 季節労働者の技能・資格取得等の推進に努め、通年雇用化を図る。		
【設定根拠】		
<H29年度>		<H34年度>
滝川市・・・	23人（滝川地域通年雇用促進協議会）	→ 25人
砂川市・・・	27人（砂川地域通年雇用促進協議会）	→ 20人
浦臼町・・・	1人（美唄地域通年雇用促進協議会）	→ 5人
●平成34年度における目標値 平成29年度実績程度を維持する。		
【今後の検証方法】 各市町において、各地域の通年雇用促進協議会から聞き取りを行い、産業・観光・交流・定住専門部会において取りまとめる。		

## I - 5 環境

専門部会名	環境・衛生専門部会
政策分野名	環境
政策分野の基本目標	一般廃棄物のリサイクル率 25.6%（平成28年度） ⇒ 28.0%（平成33年度）
<b>【設定理由】</b>	
引き続き、3R運動の推進などによりリサイクル意識の醸成に努め、リサイクル率の向上を図る。	
<b>【設定根拠】</b>	
<H28年度>	
芦別市	31.0%
赤平市	28.0%
滝川市	21.8%
砂川市	25.3%
歌志内市	23.5%
奈井江町	29.2%
上砂川町	11.0%
浦臼町	17.7%
新十津川町	45.4%
雨竜町	29.5%
全体	25.6%
平成28年度	25.6%
平成37年度	30.0%（北海道環境基本計画における目標値）
$(30.0\% - 25.6\%) \div 9\text{年} = 0.49\% \div \text{年}$ $25.6\% + (0.49\% \times 5\text{年}) \doteq 28.0\%$	
<b>【今後の検証方法】</b>	
環境省の『一般廃棄物処理実態調査結果』における確定数値を基に、環境・衛生部会において取りまとめる。	

## I - 5 - (1) 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

専門部会名	環境・衛生専門部会																						
政策分野名	廃棄物処理施設等の広域利用の推進																						
政策分野の基本目標	市民・町民 1 人 1 日当たりのごみ排出量 946 g (平成 28 年度) ⇒ 821 g (平成 33 年度)																						
<p><b>【設定理由】</b></p> <p>引き続き、分別収集の周知・徹底、リサイクル意識の醸成などにより一般廃棄物の減量化に努め、市民・町民 1 人 1 日当たりのごみ排出量を減少させる。</p>																							
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>&lt;H28 年度&gt;</p> <table> <tr><td>芦別市</td><td>901 g</td></tr> <tr><td>赤平市</td><td>798 g</td></tr> <tr><td>滝川市</td><td>1,039 g</td></tr> <tr><td>砂川市</td><td>1,075 g</td></tr> <tr><td>歌志内市</td><td>1,016 g</td></tr> <tr><td>奈井江町</td><td>689 g</td></tr> <tr><td>上砂川町</td><td>679 g</td></tr> <tr><td>浦臼町</td><td>695 g</td></tr> <tr><td>新十津川町</td><td>772 g</td></tr> <tr><td>雨竜町</td><td>886 g</td></tr> <tr><td>全体</td><td>946 g</td></tr> </table> <p>※ 実績を踏まえて、第 1 期共生ビジョンの平成 29 年度成果指標をそのまま第 2 期共生ビジョンの平成 34 年度成果指標とする。</p>		芦別市	901 g	赤平市	798 g	滝川市	1,039 g	砂川市	1,075 g	歌志内市	1,016 g	奈井江町	689 g	上砂川町	679 g	浦臼町	695 g	新十津川町	772 g	雨竜町	886 g	全体	946 g
芦別市	901 g																						
赤平市	798 g																						
滝川市	1,039 g																						
砂川市	1,075 g																						
歌志内市	1,016 g																						
奈井江町	689 g																						
上砂川町	679 g																						
浦臼町	695 g																						
新十津川町	772 g																						
雨竜町	886 g																						
全体	946 g																						
<p><b>【今後の検証方法】</b></p> <p>環境省の『一般廃棄物処理実態調査結果』における確定数値を基に、環境・衛生部会において取りまとめる。</p>																							

## I - 5 - (2) 消費生活

専門部会名	環境・衛生専門部会																						
政策分野名	消費生活																						
政策分野の基本目標	消費生活相談における苦情相談件数 384人（平成28年度） ⇒ 500人（平成33年度）																						
<p><b>【設定理由】</b></p> <p>引き続き、広域相談体制の整備・充実に努めるとともに、単独設置の相談窓口も含めて被害情報等の共有を図ることにより、苦情相談件数の増を目標とする。（相談しやすく、かつ、信頼感の持てる安心して相談できる窓口体制を目指す。）</p>																							
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>&lt;H28年度&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>芦別市</td> <td>40件（広域受付分 0件、単独受付分 40件）</td> </tr> <tr> <td>赤平市</td> <td>11件（広域受付分 0件、単独受付分 11件）</td> </tr> <tr> <td>滝川市</td> <td>239件（広域受付分239件、単独受付分 0件）</td> </tr> <tr> <td>砂川市</td> <td>23件（広域受付分 0件、単独受付分 23件）</td> </tr> <tr> <td>歌志内市</td> <td>9件（広域受付分 6件、単独受付分 3件）</td> </tr> <tr> <td>奈井江町</td> <td>15件（広域受付分 6件、単独受付分 9件）</td> </tr> <tr> <td>上砂川町</td> <td>18件（広域受付分 0件、単独受付分 18件）</td> </tr> <tr> <td>浦臼町</td> <td>0件（広域受付分 0件、単独受付分 0件）</td> </tr> <tr> <td>新十津川町</td> <td>17件（広域受付分 13件、単独受付分 4件）</td> </tr> <tr> <td>雨竜町</td> <td>12件（広域受付分 6件、単独受付分 6件）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>384件（広域受付分270件、単独受付分114件）</td> </tr> </table> <p>※ 実績を踏まえて、第1期共生ビジョンの平成29年度成果指標をそのまま第2期共生ビジョンの平成34年度成果指標とする。</p>		芦別市	40件（広域受付分 0件、単独受付分 40件）	赤平市	11件（広域受付分 0件、単独受付分 11件）	滝川市	239件（広域受付分239件、単独受付分 0件）	砂川市	23件（広域受付分 0件、単独受付分 23件）	歌志内市	9件（広域受付分 6件、単独受付分 3件）	奈井江町	15件（広域受付分 6件、単独受付分 9件）	上砂川町	18件（広域受付分 0件、単独受付分 18件）	浦臼町	0件（広域受付分 0件、単独受付分 0件）	新十津川町	17件（広域受付分 13件、単独受付分 4件）	雨竜町	12件（広域受付分 6件、単独受付分 6件）	計	384件（広域受付分270件、単独受付分114件）
芦別市	40件（広域受付分 0件、単独受付分 40件）																						
赤平市	11件（広域受付分 0件、単独受付分 11件）																						
滝川市	239件（広域受付分239件、単独受付分 0件）																						
砂川市	23件（広域受付分 0件、単独受付分 23件）																						
歌志内市	9件（広域受付分 6件、単独受付分 3件）																						
奈井江町	15件（広域受付分 6件、単独受付分 9件）																						
上砂川町	18件（広域受付分 0件、単独受付分 18件）																						
浦臼町	0件（広域受付分 0件、単独受付分 0件）																						
新十津川町	17件（広域受付分 13件、単独受付分 4件）																						
雨竜町	12件（広域受付分 6件、単独受付分 6件）																						
計	384件（広域受付分270件、単独受付分114件）																						
<p><b>【今後の検証方法】</b></p> <p>消費者庁発行の『地方消費者行政の現況 第3分冊：予算・事業編』における確定数値を基に、環境・衛生専門部会において取りまとめる。</p>																							

## I - 6 防災・消防

専門部会名	防災専門部会
政策分野名	防災・消防
政策分野の基本目標	防災講習会等の開催数 31回（平成29年度）⇒31回（平成34年度）
<b>【設定理由】</b> 台風や地震などの自然災害発生に備え、防災知識を高め、自助、共助の防災活動を促進する。	
<b>【設定根拠】</b> 平成27年度から平成29年度の防災講習会等の開催数は、24回から31回の1.291倍増となったが、開催回数は、各市町の市防災職員業務量と関係することから、自治体職員数の減少も考慮すると今後の伸びを期待するよりも平成29年度の開催回数を目標とし維持することを目標とする。	
<b>【今後の検証方法】</b> 各市町において算出する。	

## I - 6 - (1) 広域防災体制の連携推進

専門部会名	防災専門部会
政策分野名	広域防災体制の連携推進
政策分野の基本目標	防災講習会等の参加者数 1, 321人（平成29年度） ⇒ 1, 176人（平成34年度）
<p><b>【設定理由】</b> 台風や地震などの自然災害発生に備え、防災知識を高め、自助、共助の防災活動を促進する。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b> 平成27年度から平成29年度の防災講習会等の開催数は、24回から31回の1.291倍増、また参加数も696人から1,321人の1.897倍増となり、目標が達成されたが、平成28年度1,451人から平成29年度1,321人と0.910減となっている実態がある。      今後は、人口減において、人口数に対する参加者割合の伸びを見込む必要がある      なお、受講回数は、各市町の市防災職員業務量と関係することから、自治体職員数の減少も考慮すると今後の伸びを期待するより平成29年度の開催回数を目標とする。</p> <p>1) 人口減少の減少率 0.89      中空知広域圏人口推移 平成27年108,970人（国調） 平成32年103,645人 平成37年96,992人      ※平成37年/平成27年（10年）=0.89</p> <p>2) 受講者数の減少率（H29/H28）=0.91      ※目標伸び率を10%とする。よって、1) × 2) =0.89 × 0.91 ≒ 0.81      人口減少下での参加者数の伸び率 0.81 × 1.1 = 0.89</p> <p>目標数 1,321人（平成29年度） × 0.89 ≒ 1,176人</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b> 各市町において算出する。</p>	

## I - 6 - (2) 消防相互応援体制の整備

専門部会名	幹事会
施策名	消防相互応援体制の整備
施策の成果指標（KPI）	情報交換事業の実施件数 1件（平成29年度） ⇒ 3件（平成34年度）
<p><b>【設定理由】</b></p> <p>情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催し、平常時からの情報交換を行い、消防力の強化を図るため。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>救急～中空知救急連絡協議会  予防～違反処理について、火災原因調査の要領について  警防～大規模な火災につながる危険性の高い地域の火災防御計画について  通信～各消防本部の指令台の現状について、電話通訳センターを介した三者間同時通訳による119番多言語対応について、Net119緊急通報システムの導入について  上記についての実務者レベルの情報交換</p> <p>●平成34年度における目標値</p> <p>前共生ビジョンの目標が平成27年度実績の0件を平成29年度には3件にするとしていた。平成28年度実績は0件、平成29年度実績は1件という結果であったが、平成30年度は3件を予定していることを踏まえて、前共生ビジョン同様3件とする。</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b></p> <p>滝川市から滝川地区広域消防事務組合に、実務者レベルの連絡会議の開催状況等について確認し計上する。</p>	

## II - 1 地域公共交通

専門部会名	地域公共交通専門部会				
政策分野名	地域公共交通				
政策分野の基本目標	バス運行路線の維持 27 路線（H30 年 4 月 1 日時点）⇒27 路線（H35 年 3 月 31 日時点）				
【設定理由】					
地域公共交通の維持確保のため、バス運行路線の維持確保を目的とするため。					
【設定根拠】					
●H30 年 4 月 1 日時点					
	路線名	路線該当市町		路線名	路線該当市町
No. 1	滝川市内線	滝川市	No. 15	高速たきかわ号	滝川市、砂川市
No. 2	ふるさと公園線	滝川市、新十津川町	No. 16	高速るもい号	滝川市、砂川市、雨竜町
No. 3	滝新線	滝川市、新十津川町	No. 17	高速しんとつかわ号	滝川市、砂川市、新十津川町
No. 4	滝川北竜線	滝川市、新十津川町、雨竜町	No. 18	滝深線（空知中央バス（株））	滝川市
No. 5	滝川浦臼線	滝川市、新十津川町、浦臼町	No. 19	深滝線（空知中央バス（株））	滝川市、雨竜町
No. 6	札幌運転免許試験場線	滝川市、砂川市	No. 20	本町循環線（空知交通（株））	芦別市
No. 7	歌志内線	滝川市、砂川市、赤平市、歌志内市、上砂川町	No. 21	芦別温泉線（空知交通（株））	芦別市 H28. 10 から路線名変更
No. 8	滝川美唄線	滝川市、砂川市、奈井江町	No. 22	頼城線（空知交通（株））	芦別市 H28. 10 から路線名変更
No. 9	滝川奈井江線	滝川市、砂川市、奈井江町	No. 23	上芦別線（空知交通（株））	芦別市 H28. 10 から路線名変更
No. 10	滝芦線（砂芦線含む）	滝川市、芦別市、砂川市、赤平市	No. 24	向ヶ丘線（奈井江町営）	奈井江町
No. 11	上砂川線	砂川市、上砂川町	No. 25	市街地循環線（奈井江町営）	奈井江町
No. 12	焼山線	砂川市、歌志内市	No. 26	奈井江線（浦臼町営）	浦臼町
No. 13	芦旭線	芦別市	No. 27	晩生内線（浦臼町営）	浦臼町
No. 14	岩見沢美唄線	奈井江町			
			合計路線数 27 路線		
※事業者名の記載の無い路線は、北海道中央バス（株）としています。					
●H35 年 3 月 31 日時点における目標					
今後、圏域内において、人口減少が見込まれる中で、H35 年 3 月 31 日時点においては、路線数の現					

状維持を目指す。

※H30.3.31をもって滝川ふれ愛の里線は廃止。

**【今後の検証方法】**

滝川市から、各市町へ照会する。

## II-1-(1) 多様な公共交通の確保

専門部会名	地域公共交通専門部会						
施策名	多様な公共交通の確保						
施策の成果指標 (KPI)	路線バス利用者数の減少率 2% (平成 25~平成 29 年度の平均) ⇒ 2%以内 (平成 34 年度)						
【設定理由】							
人口が減少している中で、バス路線を維持し、地域公共交通を確保するため、バス利用者数を維持又は減少率の改善を目指すため。							
【設定根拠】							
	路線名	運行事業者名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
1	滝川市内線	北海道中央バス(株)	222,439	213,963	214,054	210,096	215,740
2	滝川ふれ愛の里線	北海道中央バス(株)	13,483	12,875	13,478	11,798	11,521
3	ふるさと公園線	北海道中央バス(株)	16,301	15,601	15,956	15,775	14,491
4	滝新線	北海道中央バス(株)	166,734	162,138	172,367	177,036	185,761
5	滝川北竜線	北海道中央バス(株)	31,112	30,410	30,696	28,597	27,405
6	滝川浦臼線	北海道中央バス(株)	44,038	41,501	38,413	39,673	31,862
7	札幌運転免許試験場線	北海道中央バス(株)	2,270	1,796	1,780	1,791	1,671
8	歌志内線	北海道中央バス(株)	420,871	400,564	392,870	406,620	392,197
9	滝川美唄線	北海道中央バス(株)	81,816	82,047	82,480	80,260	71,779
10	滝川奈井江線	北海道中央バス(株)	80,589	75,797	71,488	70,908	60,281
11	滝芦線(砂芦線含む)	北海道中央バス(株)	352,413	344,255	349,239	370,943	368,873
12	上砂川線	北海道中央バス(株)	57,276	53,407	51,624	39,621	29,493
13	焼山線	北海道中央バス(株)	36,770	35,881	34,884	18,783	23,712
14	芦旭線	北海道中央バス(株)	66,181	65,576	63,699	62,300	59,860
15	岩見沢美唄線	北海道中央バス(株)	115,975	111,281	105,119	103,198	96,535
16	高速たきかわ号	北海道中央バス(株)	142,469	138,122	133,870	138,326	139,938
17	高速るもい号	北海道中央バス(株)	136,201	125,291	131,547	137,267	139,743
18	高速しんとつかわ号	北海道中央バス(株)	8,585	9,838	10,015	10,405	11,362
19	滝深線	空知中央バス(株)	174,716	166,366	174,532	160,393	145,065
20	深滝線	空知中央バス(株)	199,264	173,916	174,346	161,834	174,277
21	本町循環線	空知交通(株)		4,499	6,893	6,653	5,630
22	芦別温泉線	空知交通(株)	17,705	14,198	15,462	13,159	12,383
23	頼城線	空知交通(株)	43,892	44,209	43,016	39,757	31,688
24	上芦別線	空知交通(株)	41,476	35,694	33,430	30,488	31,699
25	向ヶ丘線	奈井江町営	7,717	8,008	7,946	6,517	6,141
26	市街地循環線	奈井江町営	778	791	849	1,175	1,042
27	奈井江線	浦臼町営	5,168	5,494	5,330	4,859	4,365
28	晩生内線	浦臼町営	1,514	609	156	161	22
	合計		2,487,753	2,374,127	2,375,539	2,348,393	2,294,536
	対前年度比			0.9543259	1.0005947	0.9885727	0.9770664
				-5%	0%	-1%	-1%
路線バス利用者数の対前年度比の増減率の平均 = 約-2%							
【今後の検証方法】							
北海道中央バス株式会社のバス路線については、滝川市から同社に確認する。その他の路線については、滝川市から関係する市町に対して、別途、依頼する。							

II-2 道路等の交通インフラの整備

専門部会名	幹事会
政策分野名	道路等の交通インフラの整備
政策分野の基本目標	都市計画道路の整備率 80.2%（平成 29 年度） ⇒ 80.7%（平成 34 年度）

**【設定理由】**  
都市計画道路の整備率を検証し、今後の圏域内の道路ネットワークの構築に活かすため。

**【設定根拠】**  
都市計画道路（市道）

	H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度		
	計画延長(m)	整備済延長(m)	整備率																		
滝川市	39,262	25,799	65.7%	39,262	25,799	65.7%	32,272	25,742	79.8%	32,272	26,192	81.2%	32,272	26,182	81.1%	32,272	26,182	81.1%	32,272	26,419	81.9%
砂川市	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%	47,310	39,990	84.5%
戸別市	36,936	28,166	76.3%	36,936	28,166	76.3%	36,936	28,166	76.3%	36,936	28,166	76.3%	33,526	28,166	84.0%	33,526	30,816	91.9%	33,526	30,816	91.9%
赤平市	5,940	4,190	70.5%	5,940	4,190	70.5%	5,940	4,190	70.5%	7,060	5,970	84.6%	7,060	5,970	84.6%	30,680	27,310	89.0%	30,680	27,310	89.0%
歌志内市	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%	16,230	9,930	61.2%
奈井江町	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%	14,480	7,860	54.3%
上砂川町	x	x	#VALUE!																		
浦臼町	x	x	#VALUE!																		
新十津川町	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%	9,080	4,870	53.6%
雨竜町	x	x	#VALUE!																		
合計	169,238	120,805	71.4%	169,238	120,805	71.4%	162,248	120,748	74.4%	163,368	122,978	75.3%	159,958	122,968	76.9%	183,578	146,958	80.1%	183,578	147,195	80.2%

●平成 34 年度における目標値

平成 29 年度：80.2%

平成 34 年度：平成 29 年度の整備率に、平成 28 年度から平成 29 年度の増加率の 5 年分を加えた数値

前共生ビジョンの目標が平成 27 年度の整備率に、平成 24 年度～平成 27 年度における各年度の平均増加率の 2 か年分を加えた数値としていたが、既に整備率が高まってきたことを踏まえ、過去数年間の増加率ではなく、平成 28 年度実績から平成 29 年度実績の増加率の 5 年分を加えた数値とする。

**【今後の検証方法】**  
都市計画道路を有する各市町において計上する。

II-2-(1) 生活幹線道路の整備

専門部会名	幹事会
施策名	生活幹線道路の整備
施策の成果指標 (KPI)	市町道路の整備率 65.6% (平成 29 年度) ⇒ 66.4% (平成 34 年度)

【設定理由】

市町道路の整備率を検証し、今後の圏域内の道路ネットワークの構築に活かすため。

【設定根拠】

市町道路

	H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度		
	計画延長(m)	整備済延長(m)	整備率																		
滝川市	452,855	292,388	64.6%	453,319	294,060	64.9%	453,596	294,785	65.0%	453,596	295,901	65.2%	453,620	296,170	65.3%	453,317	296,338	65.4%	453,187	296,709	65.5%
砂川市	238,717	167,394	70.1%	238,770	170,555	71.4%	238,743	173,638	72.7%	238,742	175,273	73.4%	238,413	175,311	73.5%	238,709	176,024	73.7%	238,700	176,307	73.9%
芦原市	332,689	222,031	66.7%	332,670	222,083	66.8%	332,839	222,273	66.8%	331,976	224,871	67.7%	331,032	224,872	67.9%	331,535	225,374	68.0%	331,535	225,848	68.1%
赤平市	160,262	115,736	72.2%	160,332	115,881	72.3%	160,366	116,153	72.4%	161,086	116,940	72.6%	160,955	116,826	72.6%	160,854	116,977	72.7%	161,283	117,406	72.8%
歌志内市	43,572	25,817	59.3%	44,509	26,754	60.1%	44,509	26,754	60.1%	44,699	27,121	60.7%	44,940	27,382	60.9%	44,940	27,382	60.9%	44,940	27,382	60.9%
鹿井江町	133,855	84,605	63.2%	133,909	84,709	63.3%	133,908	85,440	63.8%	133,908	85,689	64.0%	133,908	85,689	64.0%	133,741	86,221	64.5%	133,741	86,221	64.5%
上砂川町	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%	31,504	30,322	96.2%
浦臼町	147,719	49,193	33.3%	148,170	51,296	34.6%	148,170	51,296	34.6%	148,170	51,296	34.6%	148,170	51,296	34.6%	148,170	51,296	34.6%	148,170	51,296	34.6%
新十津川町	382,276	229,132	59.8%	382,823	229,693	60.0%	382,823	229,716	60.0%	380,230	234,729	61.7%	380,230	234,872	61.8%	380,230	236,127	62.1%	380,230	236,602	62.2%
鹿島町	142,605	105,912	74.3%	142,605	106,592	74.7%	142,605	106,592	74.7%	142,605	106,592	74.7%	142,605	106,592	74.7%	142,691	106,678	74.8%	142,691	106,678	74.8%
合計	2,066,054	1,322,530	64.0%	2,068,611	1,331,945	64.4%	2,069,063	1,336,969	64.6%	2,066,516	1,348,734	65.3%	2,065,377	1,349,412	65.3%	2,065,691	1,352,719	65.5%	2,065,881	1,354,751	65.6%

「道路現況台帳」に記載の実延長及び規格改良済延長を記載する。

●平成 34 年度における目標値

平成 29 年度：65.6%

平成 34 年度：平成 29 年度の整備率に、平成 27 年度～平成 29 年度の平均増加率の 5 年分を加えた数値

前共生ビジョンの目標が平成 27 年度の整備率に、平成 24 年度～平成 27 年度における各年度の平均増加率の 2 か年分を加えた数値として 65.3%を 66%にする目標としていたが、平成 29 年度の結果としては 65.6%であった。この結果を踏まえ、5 か年分の平均ではなく、平成 27 年度実績から 29 年度実績の整備増加率の 5 年分を加えた数値とする。

平成 34 年度：平成 29 年度の整備率に、平成 27 年度～29 年度における平均増加率の 5 年分を加えた数値

$$65.6 + (65.6 - 65.3) \div 2 \times 5 = 66.35 \approx 66.4\%$$

【今後の検証方法】

各市町において計上する。

## II-3 交流・移住促進

専門部会名	幹事会					
政策分野名	交流・移住促進					
政策分野の基本目標	圏域外からの転入者数 2,671人（平成25年度～平成29年度の平均） ⇒ 2,700人（平成31年度～平成34年度の平均）					
【設定理由】						
交流・移住促進の効果測定のため、中空知圏域外からの移住者数の増加を目標とする。 なお、転入者が移住を目的としたものか転勤や進学によるものか把握が難しいため、転勤や進学等を含む圏域外からの全ての転入者数を対象とする。						
【設定根拠】						
圏域外からの転入者数						
						（単位：人）
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成34年度（目標）
滝川市	1,585	1,483	1,523	1,497	1,496	
砂川市	303	330	300	352	413	
芦別市	310	298	295	201	253	
赤平市	191	174	173	91	175	
歌志内市	61	43	39	41	47	
奈井江町	112	107	116	88	105	
上砂川町	34	35	43	34	30	
浦臼町	44	41	36	28	33	
新十津川町	118	116	112	88	116	
雨竜町	67	23	55	66	35	
合計	2,825	2,650	2,692	2,486	2,703	2,700
●平成34年度における目標値						
平成25年度から平成29年度までの転入者の平均の2,671人を平成31年度から平成34年度の平均で平成29年度実績程度の2,700人とする。						
前共生ビジョンの目標が平成27年度の転入者数に、平成23年度から平成27年度の各年度の増減率の平均を平成28年度と平成29年度の2か年分乗じた数値とし（社会全体では人口減少しているが、各市町で移住施策に取り組んでいることから現状の増加率を維持するとした）、平成29年度に2,826人とすることを目標として掲げたが、年度によって差が大きいことから平成31年度から平成34年度の4年間の平均を直近の最大値である平成29年度実績程度とする。						
【今後の検証方法】						
各市町において計上する。						

## Ⅱ－３－（１）交流・移住促進

専門部会名	幹事会
施策名	交流・移住促進
施策の成果指標（KPI）	中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業」のホームページ「なかそらち会議」へのアクセス数 0件（H31.4.1） ⇒ 20,160件（H35年3月末）
<p><b>【設定理由】</b> 中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業」における「なかそらち会議」のホームページへのアクセス数から、情報発信効果を計るため。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b> 平成30年度中になかそらち会議ホームページをアクセスしやすいように改良し、平成31年4月1日より新たにカウントを開始する。</p> <p>●平成34年度における目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年8月にホームページを見やすいようにアクセス時間の短縮を図ったこと。</li> <li>・新たな方法でカウントした結果、1か月間で380件のアクセス数であったこと。</li> <li>・今後、facebookをページ上部に配置するように改良し、アクセス数の向上を図ること。</li> </ul> <p>以上の3点を踏まえ、今後facebookの投稿を増やすことによりアクセス件数の増加を図りたい。 具体的には、</p> <p>現状のアクセス数の1割増しを4年間維持するものとして、 380件/月×1.1≒420件/月 420件/月×12か月×4年間=20,160件</p> <p>前共生ビジョンではプロヴァンスのYoutube閲覧数をもとに設定しており、ホームページを新規で作成した平成29年1月11日までの実績である37,193件+200件/月×15か月で、平成30年3月末には40,000件と設定していたが、同内容での目標では閲覧件数は減少していくことが容易に想定できるため第2期ビジョンでは新たな目標を設定する。</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b> 滝川市において確認する。</p>	

## II-4 ICTインフラ整備

専門部会名	幹事会																		
政策分野名	ICT インフラ整備																		
政策分野の基本目標	ICT インフラ整備に係る広域的な取組・検討件数 4件（平成29年度） ⇒ 4件（平成31年度から平成34年度までの4年間の累積）																		
<p><b>【設定理由】</b></p> <p>ICTインフラ整備の促進を図るために広域的に実施した取組（セミナー等）や検討（情報交換会等）を計測することにより、事業の効果を検証するため。</p>																			
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>●ICTインフラ整備に係る取組・検討件数（平成29年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組・検討内容</th> <th>取組・検討件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滝川市</td> <td rowspan="12">中空知広域圏戸籍システム共同運用協議会</td> <td rowspan="12">4件</td> </tr> <tr><td>砂川市</td></tr> <tr><td>芦別市</td></tr> <tr><td>赤平市</td></tr> <tr><td>歌志内市</td></tr> <tr><td>奈井江町</td></tr> <tr><td>上砂川町</td></tr> <tr><td>浦臼町</td></tr> <tr><td>新十津川町</td></tr> <tr><td>雨竜町</td></tr> <tr><td>合計</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table>				取組・検討内容	取組・検討件数	滝川市	中空知広域圏戸籍システム共同運用協議会	4件	砂川市	芦別市	赤平市	歌志内市	奈井江町	上砂川町	浦臼町	新十津川町	雨竜町	合計	4件
	取組・検討内容	取組・検討件数																	
滝川市	中空知広域圏戸籍システム共同運用協議会	4件																	
砂川市																			
芦別市																			
赤平市																			
歌志内市																			
奈井江町																			
上砂川町																			
浦臼町																			
新十津川町																			
雨竜町																			
合計			4件																
<p>●平成34年度における目標値</p> <p>平成35年度に次期更新が予定されていることから、次期更新に向け協議を継続する。</p> <p>前共生ビジョンでは平成30年度に戸籍電算システムの更新が予定されていたことから、平成29年度は、平成27年度よりもICTインフラ整備に係る取組・検討件数が増加することを見込み目標値を3件とし、目標を達成することができた。第2期共生ビジョンでは平成30年度の更新により既にシステムの更新内容も確立されていることから、今後制度等の大きな変更がない限り大がかりなものとはならないが、年間1件を見込んで4件とする。</p>																			
<p><b>【今後の検証方法】</b></p> <p>中空知広域圏戸籍システム共同運用協議会の開催回数を滝川市において確認する。</p>																			

## Ⅱ－４－（１）行政システムのネットワーク

専門部会名	幹事会																																																		
施策名	行政システムのネットワーク																																																		
施策の成果指標（KPI）	住民一人当たりの戸籍証明発行までの待ち時間（電算共同システムの共同運用による住民の戸籍証明発行までの待ち時間の維持） 約2.3分（平成29年度） ⇒ 約2.3分（平成34年度）																																																		
<p><b>【設定理由】</b></p> <p>戸籍電算システムの共同運用開始により住民の戸籍証明発行までの待ち時間を飛躍的に短縮することができた。今後は共同運用により向上した住民サービスを維持することを検証する。</p>																																																			
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>住民一人当たりの戸籍証明発行までの待ち時間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成28年度）</th> <th>住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成29年度）</th> <th>住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成34年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滝川市</td> <td>3分</td> <td>3分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>砂川市</td> <td>2分</td> <td>2分</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>芦別市</td> <td>1分</td> <td>1分</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>赤平市</td> <td>2分</td> <td>2分</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>歌志内市</td> <td>3分</td> <td>3分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>奈井江町</td> <td>3分</td> <td>3分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>上砂川町</td> <td>3分</td> <td>3分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>浦臼町</td> <td>5分</td> <td>1分</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>新十津川町</td> <td>2分</td> <td>2分</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>雨竜町</td> <td>3分</td> <td>3分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>2.7分</td> <td>2.3分</td> <td>2.3分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※住民の戸籍証明発行までの待ち時間については、以下のとおりとする。  受付終了（本人確認、聞取り等）⇒証明書出力、契印等⇒交付（会計終了まで）  ※検証の際に算出する戸籍証明発行までの待ち時間は、サンプル調査を行い、平均の待ち時間を算出する。</p> <p>●平成34年度における目標値</p> <p>戸籍証明発行までの待ち時間を、共同運用が開始されて短縮された平成29年度実績の2.3分を維持する。</p> <p>前共生ビジョンでは平成25年度に戸籍電算システムの共同運用が開始されたことから、開始前と比較して業務の効率化及び住民サービスの向上の成果を検証することとして待ち時間の短縮を見込んでいたが、次期更新は平成35年度を予定していることから、目標年次までの期間に大幅な時間の短縮は見込めないものの、共同運用により確立された現在の高い水準を維持することとする。</p>					住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成28年度）	住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成29年度）	住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成34年度）	滝川市	3分	3分	3分	砂川市	2分	2分	2分	芦別市	1分	1分	1分	赤平市	2分	2分	2分	歌志内市	3分	3分	3分	奈井江町	3分	3分	3分	上砂川町	3分	3分	3分	浦臼町	5分	1分	1分	新十津川町	2分	2分	2分	雨竜町	3分	3分	3分	平均	2.7分	2.3分	2.3分
	住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成28年度）	住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成29年度）	住民の戸籍証明発行 までの待ち時間 （平成34年度）																																																
滝川市	3分	3分	3分																																																
砂川市	2分	2分	2分																																																
芦別市	1分	1分	1分																																																
赤平市	2分	2分	2分																																																
歌志内市	3分	3分	3分																																																
奈井江町	3分	3分	3分																																																
上砂川町	3分	3分	3分																																																
浦臼町	5分	1分	1分																																																
新十津川町	2分	2分	2分																																																
雨竜町	3分	3分	3分																																																
平均	2.7分	2.3分	2.3分																																																
<p><b>【今後の検証方法】</b></p> <p>各市町において計上する。</p>																																																			

## Ⅲ－１ 人材育成

専門部会名	人材育成・防災専門部会
政策分野名	人材育成
政策分野の基本目標	研修参加者数 184名（平成29年度） ⇒ 180名（平成34年度）
<p><b>【設定理由】</b>          圏域職員の資質及び政策課題への対応力等を高めるとともに、職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。</p>	
<p><b>【設定根拠】</b>          平成29年度事業実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 接遇研修（5/18）・・・・・・・・・・ 50名</li> <li>■ 行政実務研修（5/19）・・・・・・・・ 51名</li> <li>■ OJT指導者研修（10/12）・・・・・・ 31名</li> <li>■ 人事評価制度研修（10/12）・・・・ 22名</li> <li>■ メンタルヘルス研修（11/15）・・・・ 30名</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計184名</p> <p>職員数の減少も考慮し、現状維持程度の180名とする。</p>	
<p><b>【今後の検証方法】</b>          ■ 滝川市から中空知広域市町村圏組合に確認する。</p>	

## Ⅲ－１－（１）職員研修及び大学を活用した人材育成

専門部会名	幹事会			
施策名	職員研修及び大学を活用した人材育成			
施策の成果指標（KPI）	國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ参加者数 97人（平成29年度） ⇒ 100人（平成34年度）			
【設定理由】 オープンカレッジ参加者数を検証し、本施策の効果を検証し、今後の事業に活かすため。				
【設定根拠】 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ参加者数（平成27年度～平成29年度）				
	講座名	H27	H28	H29
はる展参加講座	あなたの想いを短歌に	10人	12人	10人
	書の美への誘い	17人	16人	15人
	絵画の制作	12人	13人	16人
はる展コンサート参加講座	大人のためのクラシック°71	6人	7人	8人
	さあ、歌いましょう！	6人		
	日商簿記検定2級対策講座	4人	4人	5人
	日商簿記検定3級対策講座	15人	21人	21人
	神社・神道を知る講座	11人	16人	16人
	『蝦夷行程記』を読む ―國學院古文書教室―	6人		
	「源氏物語」探訪 ―作品との対話を通して―	16人	16人	
	芭蕉の紀行文を読む ―「野ざらし紀行」の世界―			6人
	茶道 ―日本の文化を楽しむ―A入門編	12人	1人	
	茶道 ―日本の文化を楽しむ―B初級編	6人	4人	
	合計	121人	110人	97人
●平成34年度における目標値 前共生ビジョンの目標が平成27年度参加者数の121人を平成29年度には130人にするにしていたが、結果としては毎年10人程度の減少となった。これを踏まえ、平成34年度の目標値は現状程度の100人を維持とする。				
【今後の検証方法】 滝川市から國學院大學北海道短期大学部に確認する。				